

令和2年6月4日

高松市長 大西秀人様

高松市庵治地区地域審議会
会長 高砂清一



合併地区のまちづくりに係る実施事業に関する意見の取りまとめ
について (提出)

初夏の候、貴職におかれましては、ますます御清栄のこととお喜び申し上げます。

日ごろは、本地域審議会の運営等につきまして、格別の御理解と御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、令和2年5月8日付け高地振第56号で依頼のありました合併地区のまちづくりに係る実施事業に関する意見について、本地域審議会としての意見集約を図り、取りまとめましたので、別紙のとおり提出いたします。

つきましては、取りまとめ事項について、格段の御配慮をいただきますようお願い申し上げます。

合併地区のまちづくりに係る実施事業に関する意見について

地区名：庵治地区

番号	項目	意見の内容
1	魅力ある観光・交流のまちづくりについて	<p>現在、観光交流館において、工夫を凝らした催しを開催するなど情報発信に努めているが、集客力には限界があり、集客が伸び悩んでいる状況であることから、市として魅力ある観光・交流を育てるまちづくりに取り組んでもらいたい。</p> <p>一例として、県内外から多くの参加がある「ファミリーマラソンin aji」や「ふれあい祭り庵治」を積極的なPR活動の場と捉え、観光交流課とスポーツ振興課等が連携し、インターネットも含めた積極的なPR活動を行い、効率的に地域間交流の促進を図ってはどうか。</p>
2	時代の変化に応える産業を育てるまちづくり(農業の振興)について	<p>依然として地場産業である石材及び漁業関係は、環境的に厳しい状況であるが、それにも増して農業の分野においては、農業従事者の高齢化の進展に伴い、耕作放棄面積が確実に増えている。加えて、後継者問題も含め、現在、農業が直面する様々な問題を考えると、10年後の農業は、決して希望が持てる状況ではない。</p> <p>市が対応可能な範囲で農業振興について、耕作放棄された農地や若手農業従事者の不足等、現在の状況をどのように受け止めているのか、また、今後、市として時代の変化に対応する農業振興策についてどのような対応策を実施していくのかお聞きしたい。</p>
3	公共交通充実に係る支援策について	<p>高齢化の進展に伴い、今後、さらに免許返納者が増加し、通院、買い物支援が必要な人が増えてくると思われる。</p> <p>昨年、9月から10月にかけて、自治会加入全世帯を対象として、「庵治町の課題と将来のまちづくり」についてアンケートを行った結果、行政が重点的に取り組んでもらいたい意見として公共交通の充実が最も多く寄せられた回答であった。</p> <p>例えば、具体的な支援策として、庵治地区単独でのコミュニティバスを運行するには、いくつもの課題があり、実現が困難と思われることから、他の選択肢として、現在、県外で取り組まれている乗合タクシーについて、市はどのように捉えているのかお聞きしたい。</p> <p>加えて、これらのアンケートの結果を踏まえて、改めて地域住民の意識醸成を含めた支援策をお聞きしたい。</p>
4	各種イベント補助金について	<p>持続的な地域間交流・連携を進めるためには、庵治地域の海洋資源、自然、水産業や石の文化や芸術のほか、「ファミリーマラソンin aji」や「ふれあい祭り庵治」などのイベントを生かした交流を通じて交流人口の拡大を図ることが重要である。</p> <p>しかしながら、「ふれあい祭り庵治」への補助金について今回も減額となり、合併直後から200万円余り減額している。</p> <p>特に打ち上げ花火については、歴史は高松まつりより古く、庵治地区の一大イベントとなっており、イベントの縮小は受け入れ難い。</p> <p>補助金の減額は、「あじっ子市場」についても同様に減額されているが、これ以上減額しないよう補助金を継続してもらいたい。が、庵治地区のこれらのことについて市はどのように考えているのかお聞きしたい。</p>

番号	項目	意見の内容
5	「高松市立地適正化計画」における居住誘導区域外での具体的な取り組みについて	<p>高松市立地適正化計画において、居住誘導区域でない地区の取り扱いはどうするのか。昨年度の地域審議会においても、これらと同様の意見を提出したが、具体的な方策は示されなかった。</p> <p>昨年度、具体的な整備については、地域の方々とコミュニケーションを取りながら、予算の範囲内で対応していく旨の回答があったが、この一年で進展はあったのか。</p> <p>改めて、居住誘導区域外におけるまちづくりの具体的な考え方、方策を説明されたい。</p>
6	市道の整備について	<p>市道の整備について、本年1月の勉強会では、建設計画に登載の3路線は、既に完了済みとの説明があったが、谷東線、才田2号線は、建設計画に災害時における避難所へのアクセス道路として位置づけられている。</p> <p>特に、谷東線は、平成29年に地元から要望書も提出されているが、地権者との関係で課題があるとの説明であった。引き続き鋭意取り組んでいただきたい。</p>
7	公共施設の運営・管理について	<p>現在の庵治コミュニティセンターは、旧庵治町時代に公民館・武道場として、昭和59年に建設された建物であり、内外ともに老朽化が進んでいる。</p> <p>今年、1月には、強い季節風により、コミュニティセンターの屋根材が飛ばされ、隣家に被害が及んだと聞いている。</p> <p>また、周辺は通学路でもあり、重大な事故も懸念される。</p> <p>指定管理者でもあるコミュニティセンター職員は、日々の業務の中で目視点検を行っているが限界がある。</p> <p>町内には、他に類似の市有施設もあることから、老朽化や災害で市有施設の破損が原因で、民家等にも被害が及んだ場合、双方の原状回復に係る保険適用も含め、今後の対応方針を示していただきたい。</p>